

子どもの居場所部会報告書（案）に対する各部会員からの意見

項目	部会員名	意見
3(1)	—	—
3(2)	村上	もう少し掘り下げた文章に変えた方がいいと思います。具体的にはタイトル部を「子どもの居場所づくりや運営のための資源（財政、場所、情報、オペレーションサポート等）を提供すること」とし、文面の「他機関」を「他自治体」に変え、「助成制度等」以下を「助成制度や仕組みづくりの情報把握や情報提供に努めること。」に変える。
		【溶け込み例】 (2) 子どもの居場所づくりや運営のための資源（財政、場所、情報、オペレーションサポート等）を提供すること 市の既存制度の見直しや拡充を含め、子どもの居場所づくりや運営に対する支援を充実し、他自治体の助成制度や仕組みづくりの情報把握や情報提供に努めること。 子どもの居場所を催す場所の確保について支援すること。
	谷村	市の既存制度の見直しや拡充を含め、子どもの居場所づくりや運営に対する支援を充実し、他機関の助成制度等の情報提供にも努めること。 また、施設・場所の確保についても支援すること。 →施設・場所の対象は子どもの居場所以外ない、くどいので削除
3(3)	村上	内容がやや曖昧なので、タイトル部を「子どもの居場所に関するネットワーク構築を支援すること」とし、最後部の「中間支援体制を充実すること。」を「ネットワーク構築を支援すること。」に変える。
	鈴木恭	全文修正 子どものニーズ調査を行うなどして、居場所づくりに子どもが主体的に関われる環境をつくること。 子どもの居場所に関わっている人、これからやりたい人、支援したい人が情報交換し、つながりあうことができるような支援を行うこと。 居場所づくりに携わる市民と、市が定期的に情報交換をし、市全体の居場所づくりに反映する機会を設けること。
	谷村	子どもの居場所に対する、子どものニーズを把握し、取り残されている子どもがいないことに留意すること。 居場所に関わっている人、これからやりたい人、支援したい人が情報交換し、つながりあうことができるような中間支援体制を充実すること。 →需要サイド側に少数意見を拾うことを言及したい2(1)に関連。中間支援と謳いながら主に供給サイドの文言が多いので。
3(4)	村上	広報という文言が陳腐な印象があるので、タイトル部を「すべての子どものために様々な居場所があることを周知すること」とし、文面の「気軽に」を切実な子どもの存在を考慮し、「それぞれの求める」に差し替える。
		【溶け込み例】 (4) 子どもの居場所の周知に協力すること 子どもと保護者がそれぞれの求める居場所を探すことができること。 居場所の情報やその特色を知ることができること。